

単水栓 混合栓の 水漏れの 直し方

確かに蛇口を閉めたはずなのに、どこからともなく聞こえる、水の滴る音。

ほんの少しずつ漏れていても、一晩でかなりの水量になります。水漏れは、場所によって修理する箇所が違いますので、これを機会に、覚えておくと、いざという時に役立ちます。

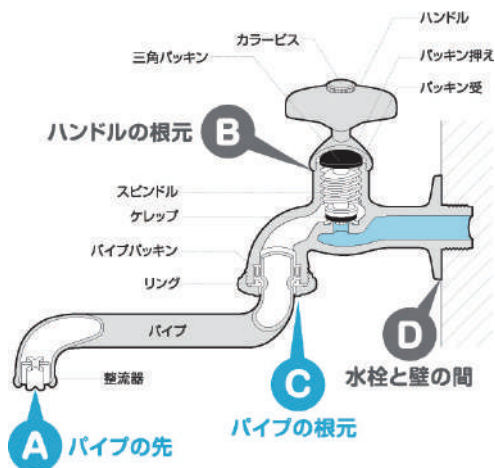
注意！作業の前に

作業を始める前に、必ず止水栓を閉め、水を止めましょう。閉めるのを忘れて作業を行うと、床一面、水浸しになってしまいます。

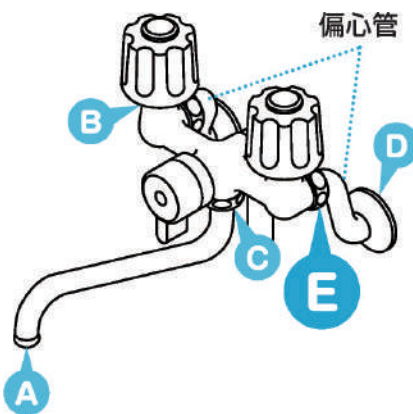
一般家庭の水道の径は、JIS規格で決まっており、13(1/2)mmと20(3/4)mmがあります。ご家庭の水道の径の大きさを確認してから、部品を購入しましょう。

水栓の仕組みと水漏れ箇所

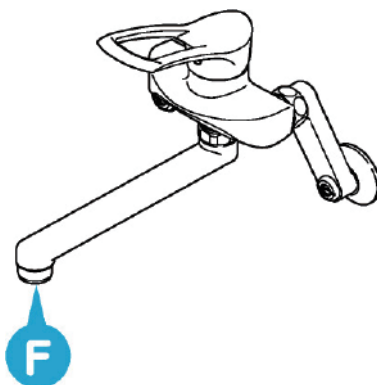
蛇口のどこから水漏れしていますか？
取替え手順にあわせて、原因部品を交換して直しましょう。



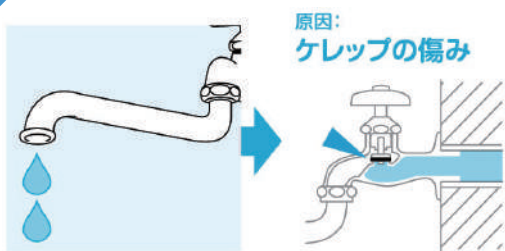
・ ツーバルブ混合栓の場合



・ ツーバルブ以外の混合栓の場合



A パイプの先から水漏れする場合



蛇口の中にあるケレップという部品を交換します。主にゴムパッキン部分が劣化するので、パッキンのみ交換する方法もあります。節水ケレップを使用すると、無駄な水を流さずにすみます。

ケレップを取替え



1 ナットを外す



2 ハンドルを外す



3 ケレップを交換



4 ナットを締める



※作業をはじめる前に、必ず止水栓を閉めましょう。

※作業後、止水栓を開けて水もれがないかチェックしましょう。

Howto.なび

動画でもっとわかりやすく！
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。

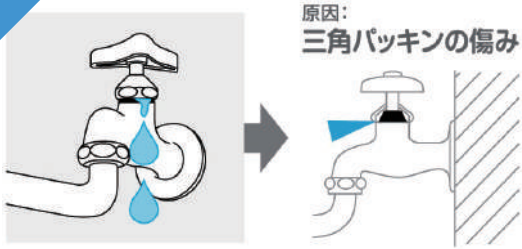


How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



B ハンドルの根元から水漏れする場合



ハンドルのナット裏にある三角パッキンが劣化しています。パッキンとワッシャーを交換します。

三角パッキンを取替え



1 ナットを外す



2 ハンドルを外す



3 三角パッキンを交換



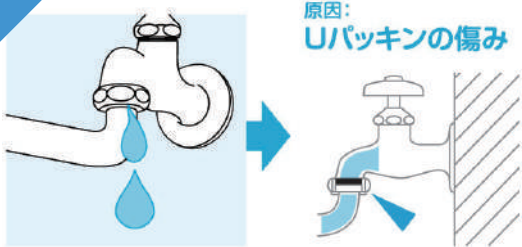
4 ナットを締める



※作業をはじめる前に、必ず止水栓を閉めましょう。

※作業後、止水栓を開けて水もれがないかチェックしましょう。

C パイプの根元から水漏れする場合



パイプのナットで使用されているUパッキンとリングが劣化しています。水を出しているときにしか漏れませんが、可動部分のため傷みやすい部品です。

Uパッキン・リングを取替え



1 ナットを緩める



2 パイプを外す



3 Uパッキン・リングを交換



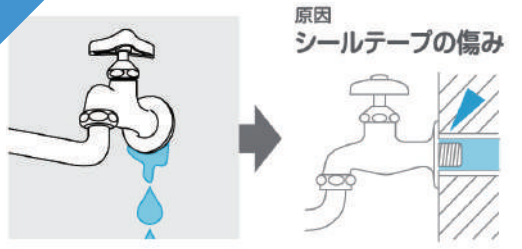
4 ナットを締める



※作業をはじめる前に、必ずハンドルを閉めましょう。

※作業後、止水栓を開けて水もれがないかチェックしましょう。

D 水栓と壁の間から水漏れする場合

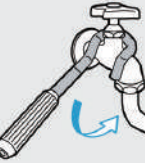


水栓のネジ山部分のシールテープが劣化しています。壁から水栓を外したら、古いテープをしっかりと取り除き、新しいものを巻きなおしましょう。

シールテープを巻替え



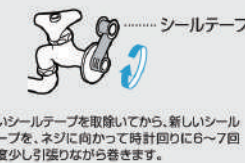
1 本体を外す



2 配管内を掃除



3 シールテープを巻く



4 水栓本体を取付ける



※作業をはじめる前に、必ず止水栓を閉めましょう。

⚠ 水栓の取付時、水栓は時計回りにしか回さないでください。一度時計回りで締め込んだ水栓を、反時計回りに戻すとシールテープが切れて、水もれの原因になります。

※作業後、止水栓を開けて水もれがないかチェックしましょう。

Howto+なび

動画でもっとわかりやすく！暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



E 偏心管と本体の間

偏心管のパッキンが劣化しています。
混合栓は単水栓に比べ接合部分が多いため、
この部分からも水漏れすることがあります。

偏心管パッキンを取替え



1 ナットを緩める



2 偏心管パッキンを交換



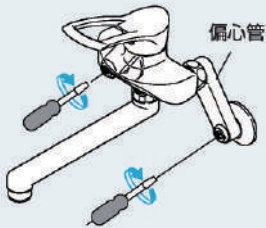
3 ナットを締める



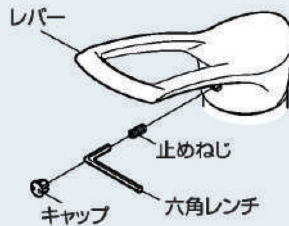
F パイプの先 (ツールバルブ以外の混合栓)

温水と冷水を混合するカートリッジという部品が劣化しています。

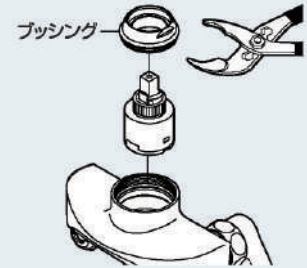
1 湯・水を止めます。



2 レバーをはずします。



3 ブッシングをはずしてカートリッジを交換します。



流量調節栓

ドライバーでまわす事により、
流量を調節したり、配管からの
水を止める事ができます。

キャップを外して、六角レンチで
止めねじを外します。

フライヤーなどの工具でブッシングを
はずして、カートリッジを交換します。

※カートリッジおよびカートリッジ交換方法は
メーカー・機種によって異なります。
メーカー純正品をお求めください。

